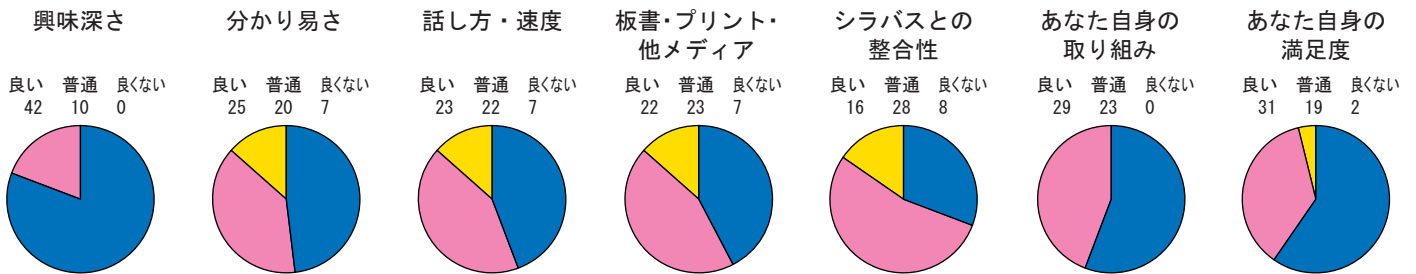


平成15年度1学期 生物学類授業評価

「発生学概論」

回答者数：52名 履修申請生物学類生数：90名 (回答率57%)



良かった点

- ・話し方がうまい。良く内容がまとまっている。
- ・発生における自作のカラープリントが分かりやすかった。
- ・たのしかった。
- ・プリントは図や表が多く理解の助けになった。
- ・熱く語ってくれていてよかった。
- ・教官の人柄がよかったこと。授業内容が頭に入りやすかったこと。レポートの提出期限が試験とかぶらないようにしてくれたこと。
- ・話の内容、進め方はおもしろい。
- ・レポートが大変だったけど、面白かった。
- ・単なる発生学ではなく、それに伴う事柄についても語っていた所が良かった。
- ・話が面白い。
- ・古典ばかりでなく最新の話も取り入れてくれたので、面白かった。
- ・レポートは大変だったが、その自分自分のための見直しとなった。
- ・レポート形式だと毎回復習しながらできるので、とても効率よく勉強することができた。
- ・内容はとても興味が湧くような構成でした。
- ・つまらないんじゃないかと思っていた発生学を面白く解説してくれた点。
- ・先生の喋りが面白かった。授業の内容についてのレポートを提出させたのはいいと思う。授業の内容についてよく復習できるから。
- ・発生学に限らず、生物学とは、学問とはなんだ、といったことをたくさん聞かしてもらえたのがよかた。また最後の講義もとても印象的だった。概論を通じてこの分野は面白そうだと思うようになった。
- ・授業そのものも面白かったんですが、横道にそれた話も興味深かったです。
- ・テストじゃなく、レポートなのが良かった。

改善すべき点

- ・質問への回答。質問で論点をすりかえてごまかすような態度はやめてほしい。
- ・話は面白いのだが、あちこちに寄り道したり、生物学類について語ったりと、あまり発生学という感じがしない授業が多かった。説明も少々あいまいで、わかりにくかった。
- ・発生学の概論としての部分が少なかったところ。
- ・余計な話が多い。講義の内容がかぶっている。
- ・話がすぐにそれる。板書の英語が何と書いてあるか分からないときがあった。
- ・話がときどき大きくとんでしまうことがあって、そこはわかりにくかった。授業のレポートを提出させるというのなら、もっとゆっくり話してほしい。
- ・話がうまくつながらなくて、要点がまとまっていないときがあった。
- ・プリントの位置が授業内容にそくして見にくいこと。
- ・話がよく飛ぶのでまとまりがない。
- ・話に一貫性がない気がする。レポートを調べてはいけないという趣旨がよくわからなかった。
- ・黒板をもうちょっと使ってください。
- ・話すのが早くてわからないことが。
- ・板書が見にくい。
- ・話がいろいろと飛び、ついていけないときもありました。
- ・話方の順序をもう少し考えてほしい。同じ話を繰り返さないように、授業内容を書き留めておいてはかがだらうか。
- ・あまり発生学をやった気がしない。いっそうのこと授業の名前を変えたらどうか。
- ・話がちょっととぶところがあって、レポートを書くとき大変だったのでなるべく順を追って話してほしいです。
- ・脱線しても(脱線は面白いからいいのです)もとの場所に着地してください。レポート書くときに順序立ててまとめるのに苦労します。
- ・話がとびに飛んで、授業の再現のレポートでは流れを作るのが大変だった。
- ・黒板に何を書いていたのかがよく分からない。もっと綺麗に板書してほしい。
- ・話がつながってなかった。まとまりのある授業をして欲しい。
- ・同じ話を何回もする割に早口でわかりにくかった。
- ・プリントに、授業中にメモできるスペースが欲しかった。
- ・質問に的確に答えられていない。
- ・話があっち行ったりこっち行ったり・・・
- ・話す速さが速いときがあった。

担当教官のコメント

コメント有り難う。来年度以降の授業に向けて参考にしたいと思う。批判的なコメントの多くは、成績評価を「授業の忠実な再現レポート」にしたためかも知れない。おそらく「忠実な」という部分を額面通り受け取ると大変なことになるので来年度以降は「忠実であること」にこだわらないようにすべきかも知れない。ただし、コメントの中には承服しかねるものも含まれているので一言主張させていただく。

- ・「質問にきちんと答えていない」

そうだとすれば、これは大変大きな問題で、その場合はその旨を授業中に主張すべきではないか。そのために必要な時間は十分に取っていたはずである。どのような質問にどのようにきちんと答えなかったか、具体的にわからないのでは来年度に向け何の役にも立たない。来年度以降の授業では、質問をすること、質問にきちんと答えていない場合はその旨授業中に主張するよう徹底したガイダンスを行うようにしたい。

- ・「話が飛んで元に戻らない」

話が飛んで元に戻らないはずはない。なぜなら元に戻らないとストーリーが前に進まないからである。もともと話を最後まできちんと聞いていないことが原因で、どこで元に戻ったかわからなかったかも知れない・・・話を飛ばす理由は縦のストーリーに横糸を加えるためである。ちゃんと話を聞いているとなぜ話が飛んだかわかるようになっていくはずなのだが・・・話が戻ったとき「ここで飛んでいた話が戻りました」と宣言してもいいが・・・

- ・「繰り返しが多い」

重要な点は意識的に繰り返すのは当たり前のことである。なかんずく授業のはじめは前回の授業の要約(あらすじ)と重要なポイントを繰り返すようにしている。そうしないと、特に熱心な受講生以外は、ストーリーの前後関係がわからなくなるからである。提出されたレポートを見ると繰り返し強調した大切なコンセプトを書いていないものが多い。このコメントは多分、ごく一部の、取り分け熱心に聴いていた受講生からのものであると信じたい。